

機械器具(11) 放射線障害防護用器具

一般医療機器 放射線防護用固定式バリア JMDNコード:38374000

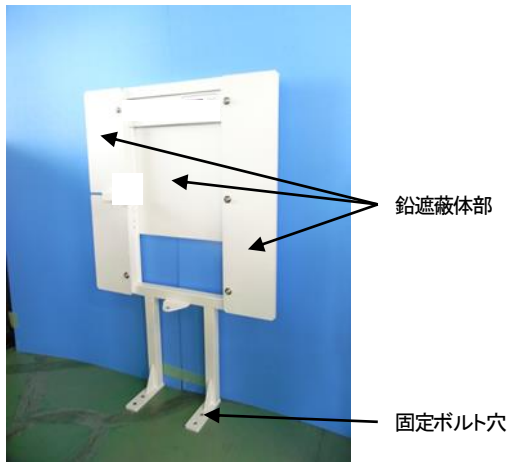
自動投与装置専用遮蔽衝立(UG-1000M-S)

【警告】

- ・本遮蔽衝立を自動投与装置(UG-1000M)に設置する場合、重量があるため、転倒に注意すること。[転倒により重大な事故につながる恐れがある]
- ・所定位置に設置するときは、必ずボルトで固定すること。[転倒により重大な事故につながる恐れがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 名称及び外観
全体図



2. 寸法及び重量

- (1) 本体 (値は標準値であり公差は±10%である)
寸法 : W 約748mm×D 約120mm ×H 約1185mm
質量 : 約95 kg

3. 名称・機能

名称	機能
フレーム	遮蔽体を支える骨格。
遮蔽体	放射線を遮断するため鉛をサンドイッチしたもの。

4. 原理

投与中及び投与後の被験者からの被曝に対し鉛遮蔽体を置くことにより、医療従事者の被曝を軽減する。

【使用目的、効能又は効果】

1. 一般的名称定義

医学的診断又は治療及び歯科処置に用いた放射線による不必要な被曝から術者等を保護することを目的とした自立型の移動式バリアをいう。本品により人と一次放射線源又は散乱放射線源との間に物理的な放射線減衰バリアが生じる。大半は内部を目視することができるように透明な鉛ガラス製又はプラスチック製の挿入部がある。使用する材料は減衰させる放射線の種類に応じて異なる。たとえば、診断用X線及び核医学に用いるものは鉛と同等の物質を使用している。中性子を減衰させるのに用いるものは鉛ではなく水素性材料を使用している。

2. 使用目的

本品は、投与中及び投与後の被験者からの被曝を軽減する。

3. 効果

投与中及び投与後の被験者からの被曝を軽減する。

【品目仕様等】

本器の遮蔽体の許容値：370 MBq までの放射性医薬品に対応可能
遮蔽体部：鉛 10 mm厚

【操作方法又は使用方法等】

- (1) 自動投与装置(UG-1000M)の背面側に専用遮蔽衝立をセットする。
- (2) 本架台の背後中央部に被験者が座る。
- (3) 注射台に腕を載せ、投与準備する。
- (4) 投与準備し、投与する。
- (5) 終了後、電源を切る。

【使用上の注意】

1. 本装置の医療従事者に関する注意事項
使用時は遮蔽衝立の固定を確認すること。
2. 装置を使用する前には次の事項に注意すること。
使用に当たって、添付文書及び取扱説明書を十分理解後、実施すること。
3. 安全に関する注意事項
(1) 重量物であるため、取り扱いには十分、注意すること。
(2) 本装置は放射性薬剤を取り扱うため、放射線管理区域内で使用し、放射線管理区域外では使用しないこと。

【保管方法及び有効期間】

1. 保管方法
(1) 高温、多湿、直射日光及び水濡れを避けて室温で保管して下さい。
(2) 傾斜、振動等安定性に注意して設置して下さい。
2. 有効期間
保守点検並びに部品を交換した場合：6年とする(自己認証(当社データ)による)。

【保守・点検に係る事項】

安全により長くお使い頂くために日常点検を行って下さい。又、年に1回程度を目安に弊社または、弊社指定のサービス会社より保守・点検を受けて下さい。

【包装】

1セット

【製造販売業者/製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者 : 株式会社ユニバーサル技研
住 所 : 神奈川県小田原市寿町3-1-7
電 話 番 号 : 0465-32-5005
FAX番号 : 0465-32-5885

取扱説明書を必ずご参照下さい。